



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第2号 (H23.4.19)

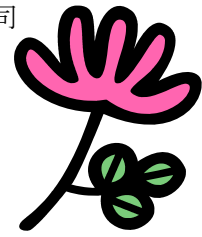
宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 前田 哲司

しつ じつ ごう けん
質実剛健

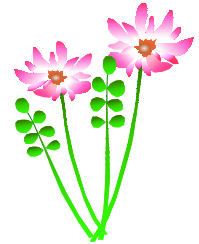
「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



入学式辞 校長 前田 哲司

4月の輝く光と、爽やかな春風に包まれ、満開の桜に心も浮き立つ今日の佳き日、多数のご来賓の方々並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、かくも盛大な入学式が挙行できますことを心より嬉しく思います。

ただ今、宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中へ40名、同高等学校268名の入学を許可いたしました。新入生の皆さん、入学おめでとう。在校生、教職員一同、皆さんの入学を心からお待ちしておりました。皆さんは今日、めでたく本校へ入学することができました。これは、皆さん一人ひとりの努力の成果であります。それとともに、これまで皆さんをいつくしみ育てて来られたご両親はじめご家族の方々、小学校・中学校においてご指導くださった先生方など、多くの方々のお力によるものであります。皆さんは、このことをしっかりと心に刻み、「感謝の心」をもって中学校生活または高校生活を踏み出して下さい。「志」を得た今の感激を忘れずに、決意を新たにして澁刺とした学校生活を送って欲しいと願っています。



また、ここまで育てられた保護者の皆様にも、これまでのご用育のご心労をねぎらい申し上げますとともに、合わせてお子様の本校ご入学を心よりお祝い申し上げます。

さて、本校は明治32年に創立され、本年度、創立112年を迎える伝統校であり、創立以来、「質実剛健」の気風が脈々と受け継がれ、在校生は文武両道に励み、学業においても部活動においても素晴らしい実績を上げています。

また、附属中学校は県内3校目の県立の中高一貫校として、地域の大きな期待を担い、昨年4月に開校しました。「自然に包まれた都市の豊かな教育環境のもと、ふるさとみやぎきへの誇りをもち、たくましく魅力あふれる人材、ひいては次代の日本や世界を切り拓く人材の育成を目指す」という教育理念を根幹とした教育活動を行っており、第1回生はその期待に応えて学業に励み、着実に成果を上げているところです。難関を突破して入学された第2回生の皆さんは、皆、素晴らしい素質を有し、無限の可能性を秘めています。これから6年間の一貫教育を通じて、その素質を磨き、秘められた可能性を开花させて欲しいと願っています。

本校の職員は皆、教育に対する情熱に溢れています。新入生の皆さんの可能性を引き出すために、最大限の手助けをします。そこで皆さんにお願いしたいことは、本校の職員と呼吸を合わせて欲しいということです。師と弟子との呼吸がぴったり合っていることの大事さを表す言葉に「そつ啄同時」という言葉があります。「そつ」は口偏に卒業の「卒」と書き、雛が殻の内側からつつくことを言います。「啄」は石川啄木の「啄」と書き、親鳥が殻の外からくちばしでつつく様子をいいます。つまり、卵から雛がかえるためには、親鳥と雛がタイミングよく、同時に内と外からつつき合うことで殻が破れる。これは、師と弟子の方でそれに反応しなくては殻は破れないというものです。

本校の職員は愛情をもって、親鳥として皆さんの殻をつつきまします。皆さんは雛鳥として殻の内側からつついて下さい。そうすればきっと皆さんの個性や能力が引き出されるでしょう。皆さんが今日からこの都城泉ヶ丘高校及び附属中学校の生徒としての生活をスタートするにあたって、越前藩の志士、橋本左内の著書「啓発録」の中の言葉を紹介したいと思います。橋本左内は幕末に西郷隆盛らとともに交遊のあった人物で、「啓発録」は彼が15歳のときに書いた書物です。その中で彼は5つの自戒（自分に対する戒めの言葉）を述べています。第1に「稚心を去れ」、第2に「気を振え」、第3に「志を立てよ」、第4に「学を勉めよ」、第5に「交友を択べ」とあります。第1の「稚心を去れ」とは、「稚心」すなわち「幼稚な心。甘えた心」を捨て去り、子どもの世界から大人の世界に脱皮し、自立するということです。第2に「気を振え」とは、技量を乗り越えて、気

合いで勝負するという事です。第3に「志を立てよ」とは、高い目標を立てて、それを必ず達成するという信念を持って立ち向かうということです。第4に「学を勉めよ」とは、勉学に自ら励むという決意。第5に「交友を択べ」とは、良い友達と交わって相手の良いところを見習い、自分を高めていくという決意です。

皆さん、今日からは是非、稚心を去り、高い志を立てて、大いに気を振るい、実り多い学校生活を送ってほしいと思います。

新入生の保護者の皆様に申し上げます。私たち都城泉ヶ丘高等学校並びに附属中学校の教職員一同、引き受けた生徒一人ひとりを大切に、そのもてる可能性を最大限に引き出す教育活動を推進し、3年後・6年後には、全員がそれぞれの進路目標を達成して、「泉ヶ丘に入学して良かった」「泉ヶ丘で学べて良かった」と心から思えるような学校づくりに努力して参る所存です。しかし、それは学校だけでできるものではありません。学校、家庭、地域がしっかりスクラムを組むことが不可欠です。保護者の皆様の本校に対するご理解と絶大なるご協力・ご支援をお願いいたします。

FITS (新入生オリエンテーション) 4月13日(水)



目的：附属中新入生に対し、附属中生としての学習・生活の仕方などを指導します。また、上級生が新1年生に指導を行うことで、上級生を再教育し、泉ヶ丘附属中生としての自覚を持たせます。



マナー教室：高橋邦子先生(4月12日：火曜日)

目的：中学生がこれから様々な学習や体験等を通して成長していくためには、色々な人達と上手にコミュニケーションをとっていくことが重要です。そこで、年度当初に専門の方から「正しい話し方」「マナー」について指導してもらいます。また、今回の教室をこれからの生徒の指導に生かしていきたいと思ひます。



<学校生活の様子> ランチタイム



文字力テスト



泉附中ゴールデnrルール(コミュニケーション上手！)

- 1 「思いやりの心」
相手の気持ちを考えて行動しよう！
- 2 「感謝の心」
「ありがとう」を声に出して言おう！
- 3 「素直な心」
謙虚な気持ちを持ち続けよう！